

令和3年度（第20回）善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

1 日 時 令和4年3月17日（木）15時30分～

2 場 所 子どもライブラリー 2階会議室

3 出席者 委員14名
欠席 1名

4 会議の概要

1. 保健福祉部長挨拶
2. 会長・副会長選任
3. 議事

- (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理・評価について
- (2) 認可定員の変更について
- (3) その他

5 資料

- ・事業量の見込み、提供体制の確保内容、実施時期等

6 会議録

1. 議事

- (1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗管理・評価について
- (2) 認可定員の変更について

〔事務局〕資料に沿って説明。

令和3年度の実績値については、一部の事業において新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者数が減少している。また、当初の見込み量に対し、それを上回る利用があった事業もあるが、供給量は確保できた。

のぞみこども園において、1号認定の定員を5名から15名に増員予定。保育の定員（2・3号）に変更はない。供給体制にも変更はない。

〔会長〕コロナ禍ではあるが、幼稚園・保育所・スタディアフタースクールにおいて大きく利用の変化はない。のぞみこども園の定員も今後のサービス供給体制に影響はないように思う。

〔委員〕広場は利用制限を行いながら事業を継続した。利用者数は少なくなったが、電話やオンラインなどの相談を通じ、つながりを絶たないような工夫をしながら事業を行っている。家族が孤立しないような工夫をしながら、善通寺市らしい子育て支援を続けていく。

〔委員〕保育所・幼稚園とも、コロナ禍1年目の昨年は出来ることは何かを考えてい

たが、2年目の今年については行事をどうやったら出来るかを考えながら実施した。2年目であり、対策が少しとれるようになってきたことによる。

〔委員〕見込量を上回る、需要があった場合の対策について。

〔事務局〕保育の見込量の上限は若干の余裕をもって設定している。保育所において、面積要件を満たしているものの保育士が不足している場合は、市が援助するなどの受け入れ態勢を強化しながら確保量の増加に努めることも必要。

〔委員〕病児・病後児保育事業も新型コロナの影響から、令和2年度から利用者が減少している。高松市の病児保育事業所ではPCR検査を受けさせてから、受け入れをしていると聞くが、PCR検査が陰性であっても、その後陽性となる場合がある。その場合、病院も一定期間閉院しないといけなくなる。受け入れが困難な状況が続いている。

〔会長〕数字に表れてこない部分である質の部分がコロナによって下がってしまうことへの懸念。

〔委員〕スタディアフタースクールにおいても、数はもちろん質も求められている。スタディと連携を取りながら学校運営を行っていく。

〔委員〕環境整備について。コロナということになると面積が狭いということが一層問題となってくる。保育所の建替えも視野に入れて切実に考えていかないといけない。コロナによって環境整備が大切だと考える契機となった。

〔委員〕新型コロナウイルス感染症対策について、小学校・中学校では基本的にマスクをしているが、低年齢児がいる保育所では対応が取りにくい。濃厚接触者となるケースが多くなる。

〔委員〕コロナによって仕事を休まざるを得なくなり、収入に直結するような保護者に対する救済制度はあるのか。

〔事務局〕基本的に勤務先に申請していただく。雇用契約によって休業補償の対象とならない可能性がある。国の給付金の対象となるかどうかは保護者に確認いただいている。

〔委員〕今年度は、一部のイベントについて感染対策を講じ実施することができた。

〔委員〕子どもの成長を今年、園で見れたことは安心につながった。

－ 進捗管理・評価及び認可定員の変更について承認 －

(3) その他 子どもライブラリーについて

－ 閉会する －